

鈴鹿山脈 御池岳(1247m)

2012年1月22日(日)

L : 和利、lady、世田

昨日の雨は上がり、曇りがちであるが薄日が差している。
ミーティングの影響で頭が痛い。彼女たちは私の5倍以上飲んでいるが何ともないようである。

仮眠テントを撤収し、山口の簡易パーキングから登山口の山口配水池まで移動した。
登山口には2台の車が止まっている。登山口には雪は無い。
冬枯れの寂しい登山道を沢に沿って登るが、登山道は昨日の雨でぬるぬると滑る。
一登りして木和田尾の分岐あたりから雪が増えはじめ、白船峠に着く頃には50cmを越えていた。



白船峠(白瀬峠)・・・踏み跡はある



真の谷への下り

白船峠から真の谷へ一気に下る。雪が深く足を取られて歩きにくい。
白船峠からの下りとテーブルランドへの登りが、この山行の醍醐味で思いっきり雪と格闘できる。
真の谷で輪かんを付け、テーブルランドへ登り返す。

雪は1mを越え輪かんでも股付近までもぐり込んでしまう。上から大きなザックを背負った4人パーティが

下りてきた。
昨日は、小雨の中テーブルランドで幕営したとのこと。



テーブルランドへの登り



テーブルランドの大雪原

40分あまりで150mを登り返して、テーブルランドへ到着。過去2回来ているが、今回がもっとも雪が多い。

昨日の雨で霧氷が見られないことが唯一残念である。

13時を回っているため、御池岳（1247mピーク）には行けそうもなく、テーブルランドのドリーネ(石灰岩地域のすりばち)を散策した。

ドリーネの中に幕営跡を発見、次回は我々もぜひ幕営したい。

できれば満月の雪原で幕営してみたい。

テーブルランドから真の谷への下りは、尻セードを試みるが雪が深くて難しい。

世田さんが果敢に挑戦して雪まみれになっている。最後の急斜面は皆で尻セードを楽しんだ。



やっと晴れてきた



ドリーネ・・・蟻地獄みたい

真の谷から白船峠へ30分、脚に乳酸がたつぷりと貯まって到着。長い下りを飽きるほど歩いて下山した。下山後、竜ヶ岳の磯辺パーティと阿下喜温泉にて合流し、会食してお開きとなった。

鈴鹿の山は、雪山初心者には丁度良い山である。

伊勢湾岸道のおかげで、浜松から2時間程度で入山できる。

特に御池岳は、訪れる人も少なく雪次第でラッセルも楽しめる。

ただし、ルートによってはここ数年の大雨で登山道が荒れているため、十分に注意して入山してほしい。

次は黄色の可憐な福寿草を捜しに行く予定である。

コースタイム：

山口配水池(8:20)－白船峠(11:28)－真の谷(12:20)－奥の平(テーブルランド)(13:05)－白船峠(14:30)－山口配水池(16:15)

以上